

【第5学年】 B 器械運動 「ウ 跳び箱運動」

単元目標	知識及び技能	跳び箱運動の行い方を理解するとともに、自己の能力に適した繰り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができるようにする。
	思考力、判断力、表現力等	自己の能力に適した課題を見付け、その解決の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
	学びに向かう力、人間性等	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

	1	2	3	4 (本時)	5	6
--	---	---	---	--------	---	---

学習の流れ	10	場の準備 準備運動	場の準備 準備運動 感覚づくりの運動	・踏み越し ・跳び乗り、下り ・かえるの足打ち	・またぎ越し ・マットで前転 ・馬跳びチャレンジ	身に付けた運動の発表	
	20	感覚づくりの運動 ・踏み越し ・またぎ越し ・跳び乗り、下り ・マットで前転 ・かえるの足打ち ・馬跳びチャレンジ	<b>振り返り活動① (課題発見)</b> 【繰り返し系】開脚跳び→かかえ込み跳び→屈伸とび 【回転系】台上前転→伸膝台上前転 身に付けたい動きを試す ↓ モデルと試しの運動の動きを比較する ↓ 本時で取り組むことを発見する			デジタルポートフォリオの活用 ・技のレベル別一覧表を見る ・モデル動画を見る ・試しの動きを振り返る ・ポイント表を見る	・できるようになった運動を発表する ・開脚跳び ・かかえ込み跳び ・台上前転 ・伸膝台上前転
	30	単元のめあてと見直し ・デジタルポートフォリオの説明 試しの運動 ・開脚跳び ・かかえ込み跳び ・台上前転 ・伸膝台上前転 デジタルポートフォリオ ・動画を撮影する	<b>振り返り活動② (課題解決)</b> 場をつくりかえる ・場のモデルを見て、場のつくり方を知る ・場を自分で選択する ・課題にあった場につくりかえる 繰り返し運動を行う ・学習の相手を選択し、運動に取り組む(個人で、仲間と、先生と) アドバイスを伝え合う ・ポイント表を見ながらアドバイスをする ・同じ課題をもつ仲間や課題を解決した仲間を観察し、課題や改善点を伝え合う			デジタルポートフォリオの活用 ・場のモデルを見る ・モデルの動画を見る ・ポイント表を見る ・仲間からのアドバイスを記録する	デジタルポートフォリオ ・動画を撮影する
40	振り返り デジタルポートフォリオ ・振り返りを記録する	<b>振り返り活動③ (自己評価)</b> モデルと比較する ↓ できばえを自己評価する ↓ 新たな運動課題を見付ける			デジタルポートフォリオの活用 ・動画を見る ・振り返りを記録する ・ポイント表を見る ・次の運動の動画を見る	デジタルポートフォリオ ・振り返りを記録する	

指導	知・技	①	②③			
	思・判・表			①	②	
	態度	①				①
評価	知・技	①		②		③
	思・判・表			①	②	
	態度		①			①

評価規準	知識・技能	①跳び箱運動の技ができる楽しさや喜びを味わうことができることについて、言ったり書いたりしている。(知・運動の特性) ②助走から両足で踏み切って着手し、足をかかえ込んで跳び越し着地することができる。(技・かかえ込み跳び) ③助走から両足で強く踏み切り、足を伸ばしたまま腰の位置を高く保って着手し、前方に回転して着地することができる。(技・伸膝台上前転)	①ICT機器を活用して、動きのポイントと自己の動きを照らし合わせ、技のできばえや次の課題を確認するなど、自己の課題を見付けている。(課題発見) ②見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自己の課題に適した練習の場を選んでいる。(課題解決)	主体的に学習に取り組む態度 ①跳び箱運動の基本的な技や発展技に積極的に取り組もうとしている。(積極性)
	思考・判断・表現			
	主体的に学習に取り組む態度			